

報告第13号

株式会社北川はゆまの経営状況に関する書類の提出について

このことについて、地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、別紙のとおり提出します。

平成24年9月4日提出

延岡市長 首藤正治

平成24年度
株式会社北川はゆま

経営状況報告書

経営状況に関する説明書類

(1) 決算に関する書類

- ・ 事業実績報告書
- ・ 貸借対照表
- ・ 損益計算書

株式会社 北川はゆま

道の駅北川はゆま

ホテルの里休暇村

第 16 期

平成 23 年 度

平成23年4月1日 ~ 平成24年3月31日

事業実績報告書

平成23年度 事業報告書

自 平成23年 4月 1日

至 平成24年 3月31日

株式会社北川はゆま

・概況

開通が間近にせまった北川インターの地理的環境を見据え、通過客に立ち寄っていただける道の駅と、ホテルが住む自然環境の豊かな地域性を伝えるホテルの里休暇村との事業を展開してまいりました。

地域経済活性化の拠点として、産業の振興と観光の情報発信拠点として積極的に推進してきた以下の各事業項目について報告いたします。

・事業項目

1. 情報発信とアピール活動

① 観光案内のできる北の玄関口としての広報推進

- 季節や月ごとに発行されるパンフレットや各種情報紙等を情報館内へ陳列、常に新しい情報を利用者へ提供してきた。
- 物産館、レストランと商工会事業のアンテナショップのはゆま館店頭においてもそれぞれ方面にわたって観光案内を実施した。
- 市販の情報雑誌等の取材にて情報提供を行なった。

② 各種催事の開催とイベントへの参加出店による収入拡大と施設PR

- 延岡市ほか主催イベント
 - ・ ホテル祭
 - ・ 北川産業祭
 - ・ 祝子川産業祭
 - ・ のぼりざるフェスタ
 - ・ 城山神楽祭
 - ・ オータムフェスタ
 - ・ 楠並木物産展
- 北川はゆま主催イベント
 - ・ 毎月の日曜朝市(第4日曜日に実施)
 - ・ ゴールデンウィーク露店市(4/28～5/6)
 - ・ 夏休み子供魚つかみ大会(8/28)
 - ・ 盆期間にぎわい市(8/12～8/16)
 - ・ 師走まつり(12/28)

- ・ 盆栽展(1/9)
- ・ 料理教室(年5回)
- ・ 植木市(3/17～3/25)
- スタンプラリー関係
 - ・ 県内道の駅分科会(7/16～8/31)
 - ・ 九州沖縄道の駅(8月～10月)
 - ・ 伊勢えび海道(9月～11月)
- その他
 - ・ サマージャンボ宝くじの特設販売(7/11～7/29:440枚販売)
 - ・ 元気のべおか商品券(221枚の利用)
- ③ 関連団体との連携と情報発信の推進
 - ・ 延岡観光協会(6/3)
 - ・ 延岡観光レジャー施設協議会(4/7.6/23.9/8)
 - ・ 宮崎県道の駅分科会(4/14 .9/21、11/9、12/8、1/23)
 - ・ 延岡観光レジャー施設協議会による合同セールス(7/12:熊本県、大分県方面へPR実施)

2. 物産館の活性化

- ① 「出品者協議会」活動の推進
 - ・ 理事会において、催事の取組みや出品物の品質等について協議、後期には農業先進地の視察を行なった。(30名参加:北方町へ訪問)
 - ・ 直売所研修会等への積極的な参加にて知識の習得を図った。
- ② 新規出品者の開拓と売場改善の推進
 - ・ 新規出品者の登録者は15名の新規登録により、総計225名となった。
 - ・ 店内の状況を細かく生産者へ伝え、商品の納入を依頼することにより、売上につながる対応を実施した。
 - ・ 買物のしやすさや商品の分かりやすさを目指すため、商品の表示関係(ポップ)を利用者の目線で全商品の改善を行なった。
- ③ 利用客のニーズに合った商品の品揃えと販売拡大の推進
 - ・ 納入業者には、常に新商品の提案を依頼し、取扱商品に変化をもたせることで消費者の購買意欲につなげる工夫を実施した。
 - ・ 5月の連休時期、夏休み盆期間、9月連休の繁盛時期は物産館開店時間、レストラン朝食時間の繰り上げを設定。閉店時間については利用客の流れに応じて延長対策を実施し利用客の利便性を図った。
- ④ 地産地消の推進と安全安心の商品管理の徹底
 - ・ 納品物の徹底した検査確認を行ない、北川町給食センター、長井保育所、くまた保育園、緑ヶ丘小学校、南中学校、老人ホームきたがわ荘へ納品

し、地産地消の推進に努めた。

3. レストランの充実

① 季節の食材を活かしたメニューの開発

- ・ 土用の丑を機に「うな重」の販売促進と持ち帰り用蒲焼のPRを実施。
- ・ 鮎の冷汁膳、しいたけ丼、地元食材を活かした季節料理の販売を実施。
- ・ メニュー表を全品写真付とし、選びやすさを効果的にすることで、食事販売の促進を図った。

② 食材の品質管理及び衛生管理の徹底

- ・ 夏期に限らず常に食中毒等の事故を未然に防止するため日常において食品の管理を徹底した。
- ・ チェック表活用による調理従事者の健康衛生管理を実施した。
- ・ 調理場環境の食品衛生5S活動の継続実施。

③ 厨房機器の保安全管理と設備改善の推進

- ・ 厨房設備等の保全について、日々の点検実施によりトラブルの早期発見早期修理を行い営業に支障の無い範囲で管理を行なった。

4. はゆま館の利用促進について

① 商工会アンテナショップ運営の充実

- ・ はゆま館内に、経営指導員の指導による店内レイアウト改善を実施し、カフェを開設した。(商工会プロジェクト)
- ・ 9月より新商品「ゆずドリンク」の販売を開始した。

② 各種団体及び一般利用者による木工教室の開催

- ・ 夏休み期間に親子体験教室を行なった。
- ・ 公民館活動「アートカービング」教室を、5月から2月まで第3土曜日に実施した。

③ 利用客を対象とした料理教室の継続的な実施

- ・ 加工室にて第四日曜に料理教室を開催した。(夏期を除く)

④ 木工室加工室の有効活用に努める。

- ・ 観光協会によるホテルかごづくりを開催した。20名参加。

5. ホタルの宿利用客の確保

① 各種団体や部活動のスポーツ合宿等の利用推進

- ・ 県内の高等学校(小林、高鍋、都城、門川)による部活動合宿の受入実施した。

② 情報提供による関連団体と連携したイベントの開催

- ・ 延岡観光協会、延岡観光レジャー施設協議会との合同セールスへの参加

をした。

③ 北川やっちみろ会と連携したホテル観光に向けた活動の推進

- ・ 施設周辺の管理として植栽手入れや水路の環境づくりなどを実施した。

6. 社員の資質向上について

① グループ活動の推進と接客サービスの向上

- ・ 全従業員を対象に「顧客心理と店作り」について指導員による講習を受講した。

② 各種講習会への参加による専門的知識の習得

- ・ 産地表示適正化研修会、農産直売所研修会、おもてなし講習会へ参加し、知識の習得を図った。

③ 店頭美化の徹底

- ・ 店舗前の花壇整備や施設全体の美化活動を実施した。
- ・ 施設周辺の草刈作業を実施した。

株式会社 北川はゆま

第 16 期
平成 23 年 度

平成23年4月1日 ~ 平成24年3月31日

道の駅北川はゆま

決算報告書

平成24年3月31日現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
(流動資産)		(流動負債)	
現 金	2,098,242	買 掛 金	8,696,551
普 通 預 金	9,035,485	未 払 金	818,486
定 期 預 金	21,500,000	前 受 金	165,200
売 掛 金	89,558	預 か り 金	219,733
商 品	672,028	未 払 法 人 税 等	210,000
原 材 料	1,113,168	未 払 消 費 税	700,700
短 期 貸 付 金	4,300,000	流 動 負 債 計	10,810,670
未 収 収 益	198,065	負 債 の 部 合 計	10,810,670
流 動 資 産 計	39,006,546		
(固定資産)		純 資 産 の 部	
建 物 付 属 設 備	2,537,483	(株主資本)	
機 械 装 置	661,500	資 本 金	11,500,000
車 両 ・ 運 搬 具	2,146,105	繰 越 利 益 剰 余 金	18,093,650
工 具 器 具 備 品	1,108,571		
減 価 償 却 累 計 額	△ 5,055,885	株 主 資 本 計	29,593,650
固 定 資 産 計	1,397,774	純 資 産 の 部 合 計	29,593,650
資 産 の 部 合 計	40,404,320	負 債 ・ 純 資 産 の 部 合 計	40,404,320

平成23年度 収支決算

損益計算書

道の駅北川はゆま

自 平成23年 4月 1日

至 平成24年 3月31日

単位：円

(売上高)		
売上高		152,677,164
(売上原価)		
期首商品棚卸高	1,757,644	
仕入高	103,905,632	
期末商品棚卸高	1,785,196	103,878,080
売上総利益		48,799,084
(販売費及び一般管理費)		
給与手当	32,656,638	
退職金	528,000	
法定福利費	3,254,236	
福利厚生費	244,790	
消耗品費	1,559,748	
賃借料	1,400,264	
保険料	114,090	
修繕費	255,839	
租税公課	77,862	
減価償却費	813,621	
旅費交通費	44,607	
通信費	372,681	
水道光熱費	7,219,725	
支払手数料	2,570,056	
運賃	30,860	
広告宣伝費	203,405	
新聞図書費	127,548	
会費	24,601	
燃費	204,073	
諸費	220,600	
合計		51,923,244
営業損益		△ 3,124,160
(営業外収益)		
受取利息	71,814	
指定管理料	0	
受取手数料	3,281,939	
雑収入	220,822	3,574,575
経常利益		450,415
税引前当期純利益		450,415

収 入 計	156,251,739
支 出 計	155,801,324
経常利益	450,415
法人税等	210,000
当期利益	240,415
前期末残高	17,853,235
当期末残高	18,093,650

株式会社 北川はゆま

第 14 期
平成 23 年 度

平成23年4月1日 ~ 平成24年3月31日

ホテルの里休暇村

決算報告書

平成24年3月31日現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
(流動資産)		(流動負債)	
現 金	40,550	買 掛 金	81,490
普 通 預 金	246,478	未 払 金	243,046
売 掛 金	209,265	短 期 借 入 金	4,300,000
原 材 料	97,661	預 かり 金	41,133
		未 払 消 費 税	431,300
流 動 資 産 計	593,954	流 動 負 債 計	5,096,969
		負債の部合計	5,096,969
		純 資 産 の 部	
		繰越損失剰余金	△ 4,503,015
		純資産の部合計	△ 4,503,015
資産の部合計	593,954	負債・純資産の部合計	593,954

平成23年度 収支決算

損益計算書

ホテルの里休暇村

自 平成23年 4月 1日

至 平成24年 3月31日

単位：円

(売上高)			
売上高			9,007,698
(売上原価)			
期首商品棚卸高	63,827		
仕入高	2,106,950		
期末商品棚卸高	97,661		2,073,116
売上総利益			6,934,582
(販売費及び一般管理費)			
給与手当	8,508,015		
退職金	168,000		
法定福利費	768,466		
消耗品費	498,669		
賃借料	95,128		
保険料	35,600		
修繕費	198,297		
租税公課	13,017		
旅費交通費	5,896		
水道光熱費	192,176		
支払手数料	1,700,026		
広告宣伝費	1,450,824		
燃料費	42,896		
諸会費	103,614		
	14,600		
合計			13,795,224
営業損益			△ 6,860,642
(営業外収益)			
受取利息	88		
指定管理料	5,428,572		
受取手数料	580,215		
雑収入	135,505		6,144,380
経常利益			△ 716,262
税引前当期純利益			△ 716,262

単位 円

収 入 計	15,152,078
支 出 計	15,868,340
経常利益	△ 716,262
当期利益	△ 716,262
前期末残高	△ 3,786,753
当期末残高	△ 4,503,015

株式会社 北川はゆま

道の駅北川はゆま

ホテルの里休暇村

第 16 期

平成 23 年 度

平成23年4月1日 ~ 平成24年3月31日

事業実績報告書

平成24年3月31日現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
(流動資産)		(流動負債)	
現 金	2,138,792	買 掛 金	8,770,965
普 通 預 金	9,281,963	未 払 金	1,061,532
定 期 預 金	21,500,000	前 受 金	165,200
売 掛 金	291,747	預 か り 金	260,866
商 品	672,028	未 払 消 費 税	1,132,000
原 材 料	1,210,829	未 払 法 人 税 等	210,000
未 収 収 益	198,065		
貸 倒 引 当 金	△ 4,898	流 動 負 債 計	11,600,563
流 動 資 産 計	35,288,526	負 債 の 部 合 計	11,600,563
(固定資産)		純資産の部	
建 物 付 属 設 備	2,537,483	(株主資本)	
機 械 装 置	661,500	資 本 金	11,500,000
車 両 ・ 運 搬 具	2,146,105	繰 越 利 益 剰 余 金	13,585,737
工 具 器 具 備 品	1,108,571		
減 価 償 却 累 計 額	△ 5,055,885	株 主 資 本 計	25,085,737
固 定 資 産 計	1,397,774	純 資 産 の 部 合 計	25,085,737
資 産 の 部 合 計		負 債 ・ 純 資 産 の 部 合 計	36,686,300
資 産 の 部 合 計		負 債 ・ 純 資 産 の 部 合 計	36,686,300

自平成23年 4月 1日

至平成24年 3月31日

単位：円

(売上高)			
売上高			160,981,413
(売上原価)			
期首商品棚卸高		1,821,471	
仕入高		105,309,133	
期末商品棚卸高		1,882,857	105,247,747
売上総利益			55,733,666
(販売費及び一般管理費)			
給与手当		41,164,653	
退職金共済金		696,000	
法定福利費		4,022,702	
福利厚生費		244,790	
消耗品費		2,058,417	
賃借料		1,495,392	
保険料		149,690	
修繕費		454,136	
租税公課		90,879	
減価償却費		813,621	
旅費交通費		50,503	
通信費		564,857	
水道光熱費		8,919,751	
支払手数料		4,020,880	
運賃		30,860	
広告宣伝費		246,301	
新聞図書費		127,548	
会議費		24,601	
燃料費		307,687	
諸会費		235,200	
貸倒引当金繰入額		4,898	
合計			65,723,366
営業損益			△ 9,989,700
(営業外収益)			
受取利息		71,902	
指定管理料		5,428,572	
受取手数料		3,862,154	
雑収入		356,327	9,718,955
経常損益			△ 270,745
貸倒引当金戻入額			3,797
税引前当期純損益			△ 266,948
法人税等			210,000
当期純損益金額			△ 476,948

株主資本等変動計算書

自 平成23年 4月 1日

単位：円

至 平成24年 3月31日

科 目	変 動 事 由	金 額
(株主資本)		
資 本 金	前期末残高及び当期末残高	11,500,000
利 益 剰 余 金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	前期末残高	14,062,685
	当期変動額 当期純利益	△ 476,948
	当期末残高	13,585,737
利益剰余金合計	前期末残高	14,062,685
	当期変動額	△ 476,948
	当期末残高	13,585,737
株 主 資 本 合 計	前期末残高	25,562,685
	当期変動額	△ 476,948
	当期末残高	25,085,737
純 資 産 合 計	前期末残高	25,562,685
	当期変動額	△ 476,948
	当期末残高	25,085,737

個別注記表

自 平成23年 4月 1日

至 平成24年 3月 31日

重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

①棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 法人税法の規定による定率法

引当金の計上基準

貸倒引当金 債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権について
法人税法の規定による法定繰入率により計上しています。

計算書類作成のための重要な事項

①消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

株主資本等変動計算書に関する注記

発行済み株式の数

前期末株式数(発行済普通株式) 230株

当期増加株式数(発行済普通株式)

当期減少株式数(発行済普通株式)

当期末株式数(発行済普通株式) 230株

その他の注記

その他

有形固定資産の減価償却累計額 5,055千円

収 入 計	170,700,368
支 出 計	170,971,113
経 常 利 益	△ 270,745
貸倒引当金戻入額	3,797
税引前当期利益	△ 266,948
法 人 税 等	210,000
当 期 利 益	△ 476,948
前 期 末 残 高	14,062,685
当 期 末 残 高	13,585,737

(参考)

法人税等納付税額一覧表

単位:円

税務署	法人税	0	
			税務署納付額 0
宮崎県	均等割額	52,500	
	所得割	600	
	地方法人特別税	400	
			宮崎県納付額 53,500
延岡市	法人税割額	500	
	均等割額	156,000	
			延岡市納付額 156,500
			納付税額の合計 210,000

経営状況に関する説明書類

(2) 事業の計画に関する書類

- ・ 事業計画書
- ・ 収支予算書

平成 24 年度 事業計画

株式会社北川はゆま

1. 北川はゆまの基本方針

待望の東九州自動車道路北川インターが年末開通する事から、取り組み姿勢を一新し、従来の守りの施設から、「道の駅北川はゆま」「ホテルの宿」が、地元延岡市民はもちろん県北地域住民から愛され、観光客からの存在を意識してもらい立ち寄りたくなる攻めの施設への変革を目指す。

全従業員が「誰に」「どんなサービスを」と常に意識し、下記の各事業項目について、短期・長期それぞれの視点で全社連携による活動を展開し、目標達成はもちろん、お客様の心に印象づけるサービス提供を行う。

- ① 延岡の魅力を伝える
- ② 楽しいドライブ・旅を演出する
- ③ 快適なドライブ空間、宿泊空間を提供する
- ④ 利用者・ロコミ客を増やす
- ⑤ 地域の憩いの場を提供する
- ⑥ 地域の安心の場を提供する
- ⑦ 地域収入を高める

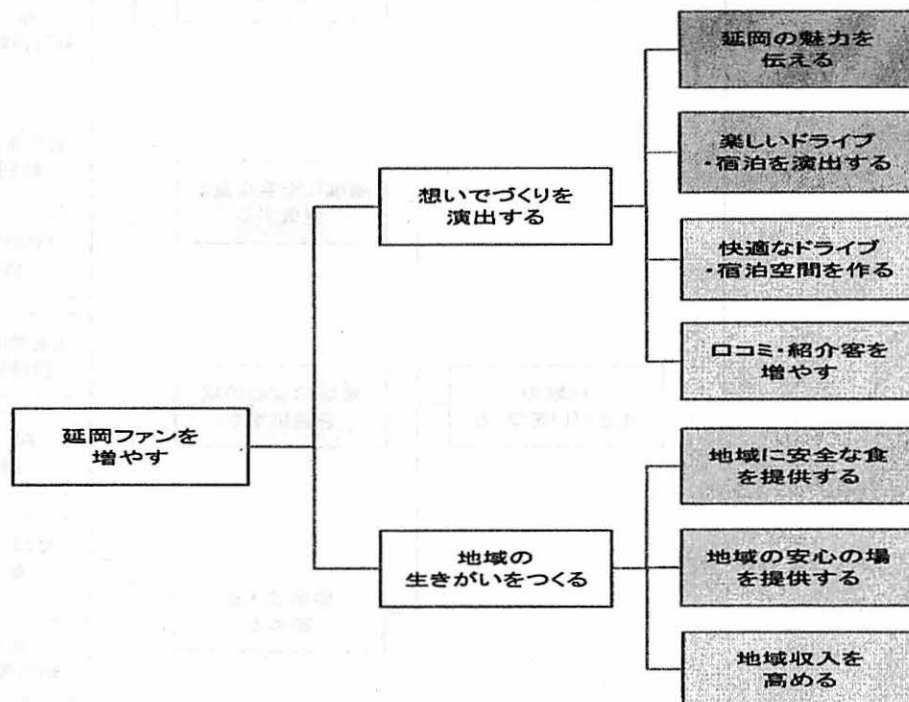


図 1 : 株式会社北川はゆまが行うべき基本サービス系統図

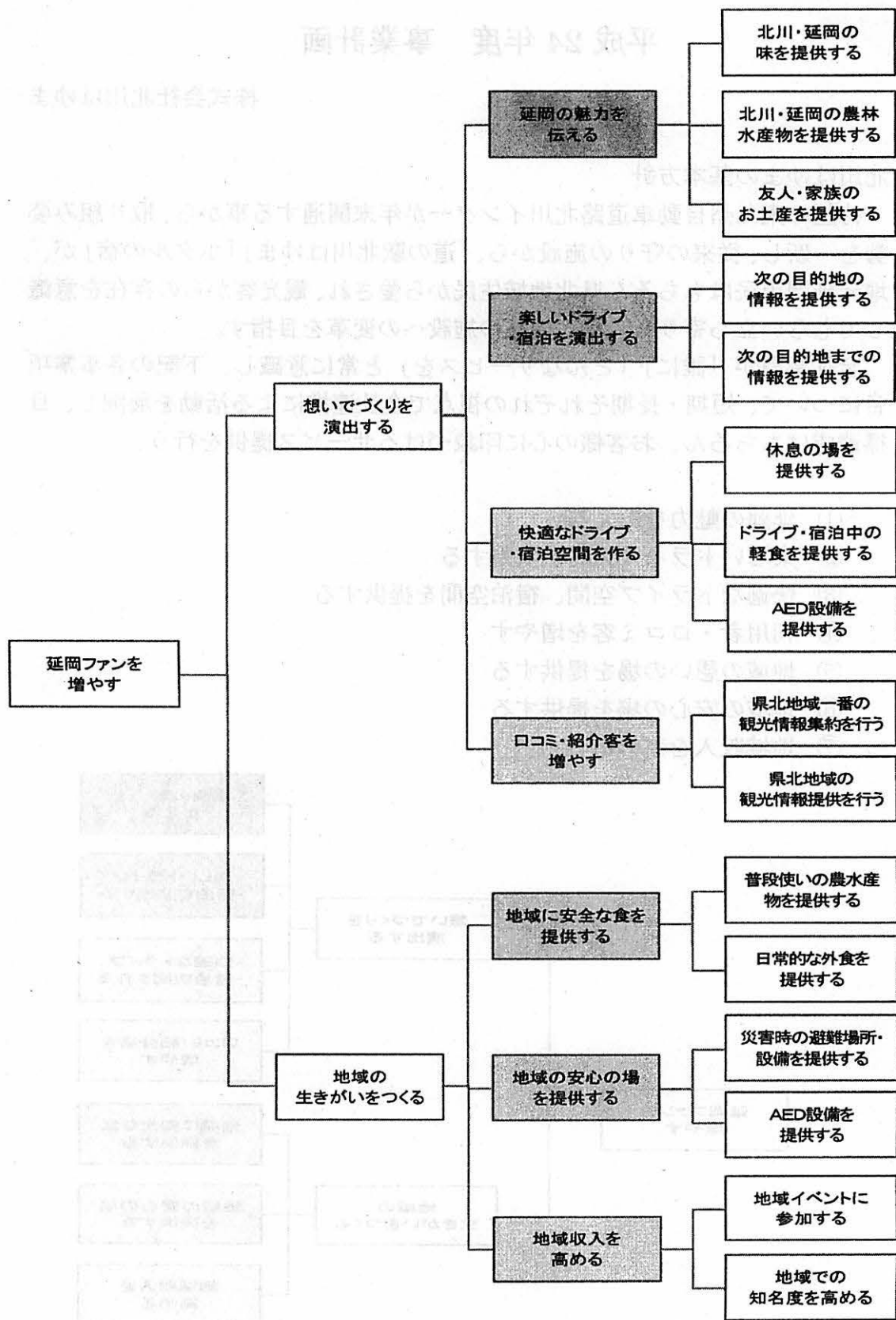


図2：株式会社北川はゆまが行うべき基本サービス系統図（詳細版）

2. 今期の事業項目

(ア)道の駅北川はゆま

- ① 延岡の魅力を伝える：「地元（延岡市全体）ならではの農水産物の販売」「地元ならではの加工品販売」
 - 売れる北川の農水産物への再構築を行う
 - 北浦・北方との農水産物集荷体制の構築を行う
 - 木工品の販売や木工教室を活用し木の良さを伝える
 - はゆまブランド商品の構築を行う
- ② 楽しいドライブを演出する：「目的別の観光飲食情報の発信」「社員の資質向上」
 - 南九州の玄関としての景観を醸成する
 - 延岡の観光情報を集約し、利用者のパターンに沿った情報提供を行う
 - 市外利用者の大多数の目的地と想定される「高千穂方面」「宮崎・日向方面」「大分・佐伯方面」それぞれの観光協会と連携し、目的地別の情報提供を行う
 - 類似施設のサービス提供状況の視察を行い、現場に活かす
 - 顧客主義の接客サービスを行う
- ③ 快適なドライブ空間を提供する：「休息の場の提供」「軽食の提供」「AEDの設置」
 - 子ども用木馬の修理・新装する
 - シロチョウザメの展示を行う
 - 夏休みイベントを毎週実施する
 - 連休、年末年始、農産物の収穫時期等、歳時記に合わせたイベントを実施する
 - 地元産物を活用したファーストフードの試験販売を行う
 - AEDの設置と社員全員での普通救命講習受講を行う
 - 関連団体との連携を行い、快適な旅作りの施設間連携を行う
- ④ 口コミ・紹介客を増やす
 - 市内レジャー施設との連携の在り方を再構築する
 - 市外利用者の大多数の目的地と想定される「高千穂方面」「宮崎・日向方面」「大分・佐伯方面」それぞれの道の駅・観光施設との連携を模索する
 - はゆまを中心とした滞在時間別の観光ルートの構築と情報発信を行う
- ⑤ 地域の憩いの場を提供する

- 毎日来店したくなるレストラン・喫茶サービスを提供する
- ⑥ 地域の安心の場を提供する
 - 防災ステーション機能の検討を行う
 - AEDの設置と地域への告知を行う
- ⑦ 地域収入を高める
 - イベント出店を従来以上に増やし、県北での知名度を高める
 - 出品者協議会、園芸組合との連携を行い、魅力ある商品造り、売場造りを行う
 - 出品ルールを再構築する事で延岡市全域からの出品環境の醸成を行い、魅力ある商品造り、売場造りを行う
 - Facebook やメールサービスを活用し、延岡圏域の方中心に農水産物の入荷状況、イベント情報を知らせる
- ⑧ 長期戦略の準備
 - 施設拡充の企画を行う
 - 施設の長期修繕計画の企画を行う
 - 延岡の産業基地として、農林水産物・加工品の創造・拡充の企画を行う
 - インターネット販売をはじめとする販売体制の再構築の企画を行う

(イ)ホテルの宿

- ① 延岡の魅力を伝える
 - 延岡の季節の便りを添付し、リピート客の利用を促進する
 - 延岡・北川の味を活かしたメニューを提供する
 - 自然食を活かしたイベントを企画する
 - 北川やっちみろ会と連携し、ホテル観光を助成する
- ② 楽しい宿泊を演出する
 - 四季を楽しめる演出を行う
 - 体験型レジャーとの宿泊パックを提供する
- ③ 快適な宿泊空間を提供する
 - 木造家屋ならではの癒しサービスを提供する
- ④ 口コミ・紹介客を増やす
 - インターネットによる宿泊予約サイトの活用を行う
- ⑤ 地域の憩いの場を提供する
 - 地域の集会や家族でのイベントに使って頂ける仕掛けを行う
- ⑥ 地域収入を高める
 - 体験型レジャーの紹介を行う

- 地域農水産物を積極的に活用する
- ⑦ 長期戦略の準備
 - 施設の長期修繕計画の企画を行う
 - 施設活用の再構築を行う

3. 長期計画イメージ

	24 上	24 下	25 上	25 下	26 上	26 下	27 上	27 下	28
高速の状況	部分開通								全線開通
農林水産物再構築	北浦・北方からの簡易集約		延岡ブランドのあり方検討		延岡ブランドの試作		プレ供用		フル供用
加工品	県北全域からの情報収集	プレ販売	延岡ブランドのあり方検討	延岡ブランドの試作	延岡ブランドのプレ供用				フル供用
施設再構築	加工スペースの整備	駐車場追加	第1次売場面積拡大		加工スペースの移転		第2次売場面積拡大		
長期修繕計画	概算予算把握		予算化活動		大規模長期修繕				
売場再構築	簡易拡充		第1次拡大				第2次拡大		

平成24年度

収 支 予 算

道の駅北川はゆま

収入の部

単位；千円

科 目	金 額	説 明
売 上	162,200	物産館 119,270 レストラン 42,930
受 取 手 数 料	3,485	自販機手数料 2,520 宅配便手数料 60 木工室使用料 170 販売手数料等 735
受 取 利 息	70	JA延岡 普通預金、定期預金
雑 収 入	200	公衆電話機 20 ソフトバンク電気料 165 加工部水光熱費 15
指 定 管 理 料	0	延岡市施設管理料
合 計	165,955	

平成24年度 収 支 予 算

道の駅北川はゆま

支出の部

単位；千円

科 目	金 額	説 明
仕 入 (売 上 原 価)	109,190	物 産 館 88,498 レストラン 20,692
退 職 金 共 済	720	中退金共済機構
給 料 手 当	35,200	正社員 5名 19,600 準社員 2名 4,200 パート 12名 10,000 木工管理他 2名 1,400
法定福利費	3,740	社会保険料 3,230 労働保険料 510
福 利 厚 生 費	500	厨房作業用具等 80 健康診断費 170 研修、慶弔費等 250
旅 費 交 通 費	150	会議出張等旅費
通 信 費	400	電話.ファックス.ネット通信
減 価 償 却 費	840	社用車 400 はゆま館屋根他 320 3号レジ機、 120
賃 借 料	1,200	電話機.コピー機リース 570 ティーサーバ、マット他 570 パソコン、ソフト機 ヘル 60
保 險 料	120	自動車共済、食品賠償共済
修 繕 費	600	厨房機器等修理他
水 道 光 熱 費	6,938	水道料 893 電気料 4,995 ガス料 1,050
燃 料 費	200	社用車ガソリン代
消 耗 品 費	2,000	厨房用品 .販売用品.事務用品等 清掃管理用品 .木工用品他
租 税 公 課	80	自動車税.印紙等
広 告 宣 伝 費	300	新聞広告.情報誌協賛広告等
支 払 手 数 料	3,000	浄化槽維持管理 1,260 電気保安業務料 160 機械警備、消毒 320 からくり時計メンテ 520 防災機器点検費用等他 740
諸 会 費	220	社保協会.商工会.食品衛生.分科会等
新 聞 図 書 費	130	新聞代 朝刊夕刊
会 議 費	60	生産者会議等
運 賃	40	宅配便等
支 出 計	165,628	仕入及び一般管理費 計
当 期 損 益	328	経 常 損 失
合 計	165,955	

平成24年度 収 支 予 算

ホテルの宿休暇村

収入の部

単位；千円

科 目	金 額	説 明
売 上	9,700	宿 泊 4,000 研 修 520 食 事 5,180
受 取 手 数 料	580	自販機手数料 20 公園植栽管理 560
雑 収 入	151	持ち込み料 151
指 定 管 理 料	5,429	延岡市施設管理料 (年契約 税込5,700)
合 計	15,860	

平成24年度

収 支 予 算

ホテルの宿休暇村

支出の部

単位；千円

科 目	金 額	説 明
仕 入 (売 上 原 価)	2,160	食事材料
給 料 手 当	8,500	支配人 900 管理、接客 6,500 夜間管理 1,100
法 定 福 利 費	500	社会保険料 360 労働保険料 140
通 信 費	200	電話、ファックス、ネット通信
賃 借 料	70	マット類
保 険 料	40	自動車共済、食品賠償共済
修 繕 費	300	設備修理全般
水 道 光 熱 費	1,800	水道料 200 電気料 1,200 ガス料、重油 400
燃 料 費	120	社用車ガソリン代
消 耗 品 費	650	厨房用品、事務用品等 客室用品等
租 税 公 課	20	印紙等
広 告 宣 伝 費	60	チラシ、協賛広告等
支 払 手 数 料	1,330	浄化槽維持管理 650 電気保安業務料 110 害虫駆除作業 40 防災機器点検費用等他 500 旅行サイト手数料 30
諸 会 費	20	社保協会、食品衛生、等
支 出 計	15,770	仕入及び一般管理費計
当 期 損 益	90	経 常 利 益
合 計	15,860	